

優しい風の吹く街

第21号 2008年10月発行



9/1 環境調査特別委員会

アメリカ発の金融不安は世界各国にも広がり、日本の景気後退も日ごとにその深刻さを増しています。さらに年金記録の改ざんや食品の偽装など、数々の問題を抱え私たちの生活不安は高まるばかりです。

この国の未来を見据え『国民の生活が第一！』という信念に基づいた政治をめざしていかなければならないと思います。

活動報告～抜粋～

7月

- 1日 上下水道事業審議会
- 2日 環境調査特別委員会
- 6日 市民ネット宝塚「駅前議会」
- 8日 文教生活常任委員会・市内学校視察
- 12日 市民カレッジ「宝塚学」受講
宝塚パワースタンプラリー
- 18日 人権審議会
- 26日 市民カレッジ「宝塚学」受講
- 27日 西谷の森公園・森開き記念式典
- 28日 文教生活常任委員会行政視察
- ～29日 (静岡県磐田市・愛知県犬山市)
- 30日 上下水道事業審議会
- 31日 郷土史研究会

- 3、4、7、→水泳授業介助ボランティア
- 9、10日 (宝塚中・小浜小・山手台小)

8月

- 1～2日 全国母と女性教職員の会全国集会(東京)
- 3日 水岡俊一参議院議員はげます会
- 5日 教育シンポジウム
- 7～8日 環境調査特別委員会行政視察
(熊本県水俣市・福岡市)
- 10日 関西フォーラム(大阪ドーンセンター)
- 13日 「路上の28歳」写真展
- 14日 宝塚灯籠流し
- 15日 反戦平和の集い
- 16日 小林盆踊り
- 19日 上下水道事業審議会
観光協会意見交換会
- 22日 平和を願う市民のつどい
- 23日 西宮市教育研究集会

- 24日 全国在日外国人教育研究集会兵庫大会
(神戸市)
- 25日 兵教組宝塚支部教育研究集会
- 28日 上下水道事業審議会
心のふれあう市民のつどい
- 30日 宝塚市民と教職員の会

9月

- 2日 文教生活常任委員会・市内福祉施設視察
- 5日 日本民主教育政治連盟・自治体議員会議(東京)
- 6日 宝塚 宗教者・市民平和会議
- 9日 9月定例会市議会(～10/9)
- 16日 上下水道事業審議会
- 20日 市民カレッジ「宝塚学」

- 10/22 決算特別委員会
- ～28



市民カレッジ 「宝塚学」
8/30 武田尾溪谷自然観察会

1. 教員免許更新制度について

①試行講習について

②研修体系も見直し、現職研修の整理や統合を進めることが求められるのではないか。

〈教育長答弁〉

- ①県下での予備講習には、本市からは48人中13人が受講し、講習の領域は、教育の最新事情及び教育内容の充実に関するものである。
- ②研修の整理・統合の必要性について、10年経験者研修との関連も含め、課題が生じた際には県や国に要望していく。

二次質問

③それぞれの専門分野の「最新の知識技能の習得」のためには、それぞれの教員のニーズに応じた多様な講習開設が、不可欠であると思うがどうか。

④この制度は、現職教員に特化した「排除」を目的とした制度ではないのか。講習の受講は教員に新たな負担を強いることにならないか。

⑤教職への人材離れや、教員不足を招くことが懸念される。代替教職員の確保も困難になるのではないか。

〈学校管理部長答弁〉

- ③大学を中心とする講習開設機関が具体的な講座の内容を示し、受講者がみずから専門あるいは課題意識に応じた必要な講習を選択することになっている。
- ④更新制そのものは不適格教員を排除することを目的としたものではない。現場の声を十分受け止めながら、必要であれば国・県に意見をあげる。
- ⑤現在でも代替教員の確保というのは、本市のみならず各市とも課題になっている。更新制により人材確保が困難にならないように願っている。



10/1 文教生活常任委員会

教職員の資質・専門性の向上は、10年に1度の講習によってなされるものではなく、学校現場における教職員同士の学びあい、日常的な研修や研究、子どもたちとの教育活動、地域・保護者とのつながりなどにより図られる。教職員の学ぶ意欲や、研修・研究に対する自主性・自立性が損なわれないよう、教育委員会の適切な対応を求めるものである。

2. 裁判員制度について

①裁判員制度導入の市民への周知における市の関わりの可能性は。

②市職員や教職員の参加についての対応は。

③学校教育・社会教育での今後の取り組みは。

〈市長答弁〉

- ①パネル展の開催、パンフレット配布等の広報活動に協力。情報の提供、相談窓口の紹介など適切に対応する。
- ②円滑な運用に向けて情報収集や対応事例の研究に努める。

〈教育長答弁〉

- ②教職員の参加においては、児童・生徒の教育に支障が出ないよう適切な対応を検討する。
- ③新学習指導要領においては、小学校第6学年と中学校の公民的分野で触れることとなっている。社会教育では、公民館において4回シリーズで「ともに知る・学ぶ裁判員制度」講座を実施。

3. 宝塚市立病院 産婦人科再開について

本市の周産期救急医療の現状と、産婦人科再開の今後の展望について。

〈市長答弁〉

周産期医療に関する救急車搬送は、19年度中は95人、20年8月までに69人で、9割以上が市外の周産期医療施設への搬送となっている。

〈病院事業管理者答弁〉

一日でも早く医師を確保し、産婦人科診療の再開を果たしたうえで、周産期救急体制についても確立していきたい。

4. 新学習指導要領における小学校外国語活動の取り扱いについて

- ①2009年4月から3年間は、新学習指導要領への移行措置期間となるが、本市ではどのような対応となるのか。
- ②指導者等の条件整備や対策は。
- ③さらに、ICT、補助教材等の準備は、万全にされるのか。

〈教育長答弁〉

- ①各学校の裁量により総合的な学習の時間の授業時数を充てて実施可能。
- ②市教育委員会において小学校教員対象の研修会を開催。またALTを1学級当たり月1回程度を目安に派遣する予定。
- ③文部科学省は、英語活用ノート、音声教材、教師用指導資料、デジタル教材を配布。市教育委員会は、CDやDVDなどの視聴覚教材の活用についても研究していく。

二次質問

- ④外国語活動を、国語力の育成と対立的にとらえるのかどうか。その関係性について伺いたい。

〈学校教育部長答弁〉

- ④日本語とは異なる外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませることで、言葉の大切さや豊かさに気づかせ、言語に対する関心を高め、これを尊重する態度を身につけさせることにつながるものであるということから考えて、国語力向上にもつながる。

5. 教育行政について

- ①教育は未来への投資である。「地方版教育振興計画」が今こそ望まれる。その策定見通しについて。
- ②教育委員会制度は、教育の政治的中立性、安定性を確保しつつ、住民の意思と社会の良識を、教育行政に反映させようとする制度である。本市教育委員会の活性化案について伺いたい。

〈教育長答弁〉

- ①県の策定の動向を注視しながら検討を図るとともに、今後とも学校、地域の関係をしっかりと見きわめ、信頼される学校園づくりが進むように取り組んでいく。
- ②教育委員会の開催年間23回は全国平均を大きく上回っており、活発な活動実績である。学校現場の状況把握、市長副市長との意見交換会を行っている。

二次質問

- ③今、社会的に議論されている「教育委員会の独立性について」教育委員の見解を。

〈教育委員答弁〉

- ③本市の教育委員会においては、独立性、自主性は確保されている。

活動トピックス

2008/7/6 《駅前議会》

市民ネット宝塚・9人の新メンバーによる第11回「駅前議会」を開催。

たくさんの市民のみなさんにご参加いただき、活発な意見交流ができました。

ひとつの問題を掘り下げて議論することは時間的に無理ですが、私たちのめざす「市民と議会が市政について対話していく」取り組みとしての意義は大きいと思います。



ひわだ充さん 当選!

9/27 三田市議会議員選挙応援



9/4 日政連自治体議員会議（東京）



岩下西宮市議
森上南あわじ市議
水岡参議院議員
高橋兵教組書記次長
北野
池田日教組執行委員

2008/8/7 《環境調査特別委員会行政視察》

肥薩おれんじ鉄道水俣駅前から商店街に続く歩道は、市民が資源ゴミとして分別したワインなどの使い捨てびんが約5mmに破碎し敷き詰められた「リ・グラスロード」になっています。

リ・グラスロードは吸水性がよく、滑りにくく、夜間は車のライトや街灯に反射するため、歩行者の安全に役立ちます。また、再利用する



ガラスびんが直接市民の目に触れるので、環境意識向上にも寄与しています。水俣市では、資源循環型地域システムを身近な暮らしの中に活かしています。



7/27 西谷の森公園 森開き記念式典

～風のココロ～

三田市議会議員選挙の応援では、秋の田園風景に心癒されながら車窓から手を振りました。

次の衆議院選挙では与野党逆転・政権交代に向け自分にできる精一杯のことをしていこうと思っています。

◇発行人◇ 北野さと子

◇連絡先◇

〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>